

2022年の相関図(序章/第二章/第六章/終章)

河々見 はるか

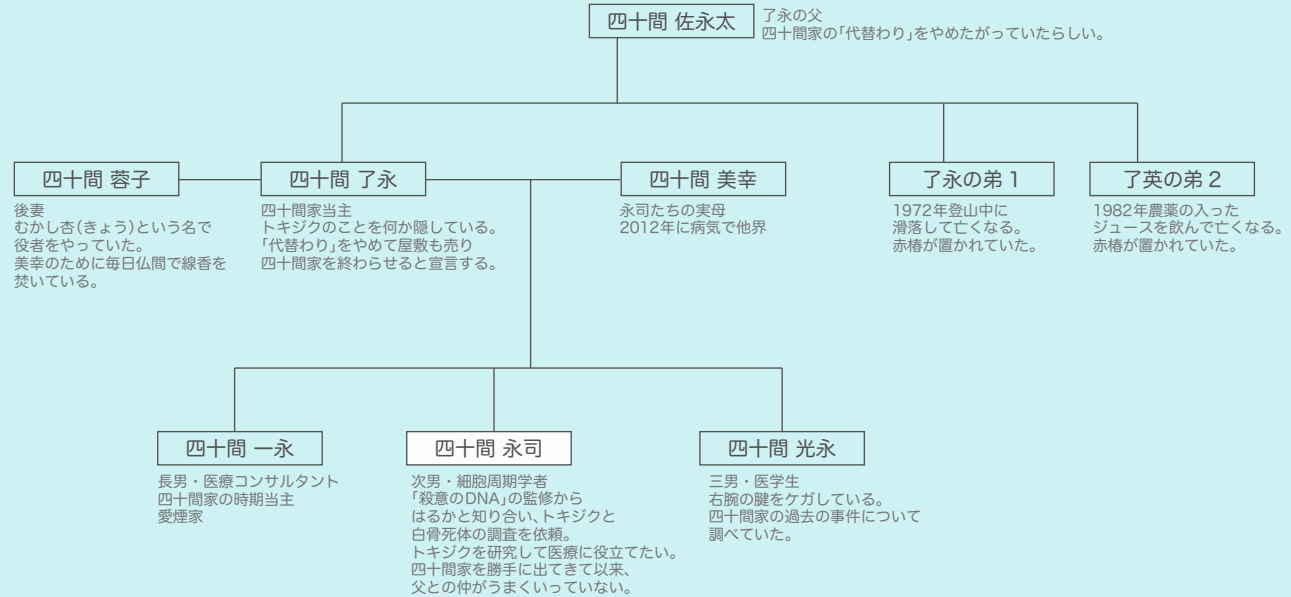
主人公・ミステリ小説家
西鞠真琴シリーズ「殺意のDNA」が
ベストセラーになる。
永司にトキジクと白骨死体の
調査を依頼される。

山瀬 明里

編集者
西鞠真琴シリーズをヒットさせた。
はるかの「殺意のDNA」執筆のために
監修を永司に依頼する。
シトラスの香水をつけている。
雑誌『新青年』をはるかに見せる。

四十間家

老化抑制研究の家系。
100年に一度行われる伝統行事「代替わり」で当主が後継者のひとりにその座を譲る決まり。
なぜか10年ごとに四十間の周りで不幸な事件が起き、その側には必ず赤椿が置かれている。
不老の果実「トキジク」が代々伝わる。
庭にある桜の根元で白骨死体が発見される。



春日 弥宵

お手伝い
2019年に四十間家に来てきた。
「西鞠真琴のせいで大切な人を
失くした」と言う。
『文藝世界』を持っていて
愛読していた様子。

草刈 孟彦

庭師
四十間邸の敷地全体を管理していて
周辺の植物にも詳しい。

西鞠 真琴

了永が白骨死体調査のために
雇った探偵。
なぜか小説の「西鞠真琴」を
名乗る。

桐生 恵

医師
事件後に連絡を受けて
治療のために四十間家に訪れる。